

あなたの会社のBCP(事業継続計画)策定はできていますか？

事業継続が可能か、チェックしてみましょう。

東京中小企業家同友会 BCPプロジェクト作成 2013年4月10日

大項目	問	項目	できているものに ○印 各2点	
基本項目	1	BCP(事業継続計画)については知っていますか。		
	2	あなたの会社は経営理念は持っていますか。		
	3	あなたの会社は経営方針(計画)はありますか。		
	4	あなたの会社は経営計画は策定していますか。		
	5	BCP計画は策定していますか。		
	6	策定している場合、BCP策定の目的は明確になっていますか。		
	7	BCP策定について従業員や関係者に対して宣言していますか。		
	8	自社の復旧すべき事業を明確にし、被害想定を検討しましたか。		
人に関する項目	9	災害等に備えて、従業員の安全や健康を三日間確保する、具体的な計画を作成していますか。		
	10	従業員数分の水と食料(保存食)		
	11	食器類や缶切り 加熱用の簡易機材 水タンク		
	12	救急箱(止血・消毒・包帯など外傷系は特に留意)		
	13	ラジオ(乾電池型+手巻充電型)と予備乾電池 携帯の蓄電池(コンセント無しで稼働可能なもの)		
	14	懐中電燈と予備乾電池		
	15	笛(救助を求めるためのもの)		
	16	防災防具類(ヘルメット、作業用手袋) 防塵マスクは重宝 防塵コークル ※履き替え用の運動靴(安全靴や長靴)		
	17	衛生用具類(ウェットティッシュ、トイレトペーパー)		
	18	工具類(脱出用のバールやノコギリ、金槌 ロープなど)		
	19	文具類(鉛筆、マジックペン<数色>、ノート)		
	20	ゴミ袋 蓋付きポリバケツ、ほうき 簡易トイレ		
	21	ビニールシート及びガムテープ(部屋を閉じるため)		
	22	カメラ、フィルム、予備乾電池(損害を記録 使い捨てカメラでもOK)※整理・修繕 前の現況で撮影する事		
	23	寝袋、毛布 使い捨てカイロ		
	24	現金(電話用の小銭も含む)、キャッシュカード、		
	25	拡声器 避難誘導用機材		
	26	自転車/ノート型PC(災害後の移動・通信手段)		
	27	リュックサック(両手を塞がないカバン類)		
	28	サバイバルカード(災害発生時の行動と対応の分担 緊急連絡網 避難先など)		
	29	従業員の緊急連絡リスト 主要顧客リスト、主要取引先・供給者リスト		
	30	東京同友会、公的機関(警察、消防等)・関連機関・保険会社・病院・電話会社・電力会社・ガス会社・金融機関・建物管理者・建物所有者・警備会社等		
	31	備蓄は来客分や帰宅困難者への支援も含めて余分に用意している。		
	32	工場の建物、設備がどの程度の地震や風水害 火災に耐えることができるか把握していますか。		
	33	会社や工場に、どの程度の地震や風水害、火災が及ぶか、ハザードマップ等で把握していますか？		
	34	事業維持に必須の仕入先や納品先は災害発生時にどうなるか把握していますか		
	ものに関する項目	35	会社周辺のライフライン インフラ被害の予測などを把握していますか	
		36	事業の中で優先的に復旧する事業)を把握していますか？また、そのために必要な必須の設備や材料、インフラは把握していますか	
		37	会社が1ヶ月間事業を中断した場合に、失う売上高や、事業を中断していてもかかる費用の総額を把握していますか？	
		38	災害後に事業を再開させる上で、現在の保険の損害補償がどの範囲をカバーするか、把握していますか。	
		39	事前に災害対策をしたり、災害後に復旧をしたりする場合に利用できる融資制度を把握していますか？	
		40	地方支社や同業他社との連携など代替して稼働できる手段を準備していますか？	
	金に関する項目	41	1か月間に支払う買掛金、貸金、支払利息と元本などの総額を把握して、それより多く現金・預金を確保していますか。	
		42	発災後の(収益減に伴う)資金繰り想定(発災後12ヶ月間)はできていますか。	

裏へ続く

43	業務で使用するアプリケーションやデータ等の一覧と、そのコピー又はバックアップをとっていますか。	
----	---	--

情報に関する項目	44	災害時に情報を発信・収集する手段(伝言ダイヤル、ソーシャルメディア)を二通り以上確保していますか？ 情報を発信・収集する相手のリストを作成しています	
	45	業務で使用するIT機器(ハードウェア)が災害等で使用できない場合に備えて、代替手段を確保していますか。	
体制・訓練	46	避難訓練や初期救急、心肺蘇生法等の訓練の定期的実施。	
	47	BCPの事前対策の実施体制はできていますか。	
その他	48	社長であるあなたが不在であったり、連絡が取れない場合に、代替りの者(二人以上)が指揮をとる体制が整っていますか	
	49	あなたの会社が自然災害や人的災害に遭遇した場合、誰に(取引先や地域の住民等を含む)どのような影響が及ぶか、具体的に検討しましたか。	
	50	取引先及び同業者等と、災害等発生時の相互支援とその方法について、具体的に取り決めてありますか。	
総合評価(○×2点)			

評価①	事業継続は困難。BCPの意義や必要性を全く認識していない。	2～16点
評価②	事業継続は微妙。「初期の状態」意義や必要性は認識しているが場当たり的になっている。	16～30点
評価③	事業継続の可能性。「反復実施」策定や取り組みの手順や仕組みが不十分で個別的、部分的実施	32～50点
評価④	事業継続は可能。「目的が定義」され、課題解決の手順が確立され、訓練も実施されている。	52～80点
評価⑤	事業継続は確実。「全社一丸」となって取り組まれ、実践され、見直しされ、さらに実践されている。	82点以上

□上記のチェックリストについてのお問い合わせは事務局 松林、岩本まで TEL 03-3261-7201 fax03-3261-7202